

# 日本の銘石

## [岡山県]

万成石…柔らかな淡紅色中でも肌色のカリ長石が目立って美しい。優しい色調ではあるが、硬度は実に硬く優れている。  
(マナリ) (花崗岩)

北木石…笠岡港近く北木島で採石されている白色を主に桜色を帯びた中目石。硬度は固く石質が均一で大材が採れる。  
(キキ) 色調は白系から桜色系に近い「北木鏘石」と呼ばれているものまで濃淡があるがいずれも美しい (花崗岩)

矢掛石…硬く粘りがあり、きめが細かい。青みを帯びた黒色は磨くと綺麗な光沢を放つ。サビが出にくく変色がない。

## [香川県]

庵治石…石英・長石・雲母などの結晶が小さく、その結合が緻密ゆえに  
(アジ) 磨けば磨くほど美しい艶が出てくる。  
また研磨した石面に潤いを与えたようなまだら模様の光沢  
「斑 (ふ)」が浮き出てくるのも特徴。  
細目と中目がある。特に細目は希少価値が高く  
高級墓石材。(花崗岩)

青木石…色むらがなく、硬質かつ粘りがある。細目の優しい目合いは  
(アキ) 女性的と表される。  
「美青の石」と言われる独特の青みがある。(花崗岩)

## [愛媛県]

大島石…伊予大島から産出。青磁を思わず独特な美しい石肌は

## [山口県]

徳山石…硬質で耐久性に優れており、粗目で青みがかった  
(トヤマ) グレーの色合いが特徴。古くより墓石材として  
使用されるほか、国会議事堂をはじめとする

## [福岡県]

唐原石…石質は硬く吸水率が低い。淡い薄桃色系で  
(トバル) 花びらを散らしたような目合いが印象的で  
女性的なやさしさを感じさせる。(花崗岩)

内垣石…硬質できめが細かく、磨くと光沢  
(ウカキ) がよくつや持ちする。色は青みを

## [佐賀県]

天山石…硬質で粘りが強く、独特の石目と  
(テガシ) 青い色合いも特徴的。大島石より  
若干目が粗いが色は濃い。  
硬度と吸水率の低さは日本産の  
中でも最高級。(花崗岩)

椿石…吸水率は低く、中目で硬質のため光沢が

## [沖縄県]

琉球トラバ-チ…琉球石灰岩の一部はトラバ-チと呼ばれ、白く粗い石肌が特徴。  
主に装飾用に用いられ、国会議事堂にも使用されている。(石灰岩)

## [山梨県]

山崎石…甲府市の北西の山で  
(ヤマザキ) 古くから採石している。  
石質は緻密で硬質。  
淡灰色系の石。  
光沢が長く維持され  
高級墓石に最適な石  
である。(安山岩)

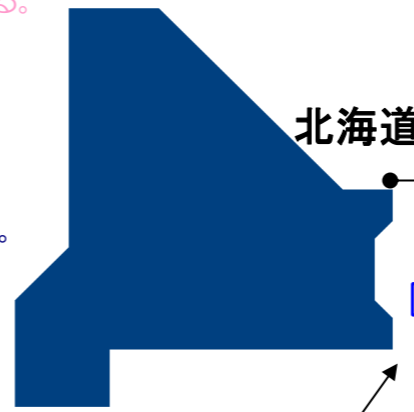
## [兵庫県]

★御影石発祥の地  
本御影石…「みかげ石」とは  
(ホミカゲ) もともと神戸市  
御影地区から産出  
された花崗岩の俗称  
だった。  
現在採掘はなく、  
在庫の原石は  
『幻の石』と呼ばれ

## [愛知県]

牛岩青石…目が細かく、磨くと強い光沢が出るのが特徴。  
(ウシイワオ) 年月が経つほど青味が深く濃くなる。(花崗岩)  
「三州御影」とも呼ばれる。

花沢石…白系中目石。適度な硬さ、独特の粘り強さ、  
(ハナザワ) 整った細やかな石目が特徴。(花崗岩)



## [北海道]

札幌軟石…風化に強く耐熱性のある石。難点は湿気に弱い。  
(サッポロソフト) 主に建築資材として使用されるが、かつては

## [宮城県]

吾妻みかげ…細目で青みのしっとり感のある高級材。吸水率も低く  
(アヅマ) 研磨することできめの細かい質感になる。近隣に  
「磐梯みかげ」があり小目で吾妻より青みが深い。(花崗岩)

伊達冠石…石質は非常に硬く、石表は焼き肌を感じさせる黄土色だが、

## [福島県]

芝山石…白御影の中でも吸水率が低く硬度が高く墓石に適している。石全体の結晶力  
(シヤマ) くせのない上品な印象を与えそれが愛用されている要素。採掘当初は「三葉  
(サヤマ) みかげ」という名で出荷されていた。紀山と同系統の石。(花崗岩)

浮金石…黒色の中に斑点を持っている。その名の通り、金をちりばめたような  
(ウキネ) 上品な光沢を放っている。希少性ゆえに国内での黒御影の最高級品。(閃緑)

滝根石…石質は硬く、吸水率も低く艶持ちもよい。鉄分が少ないため錆も出にくい。  
(タキネ) 石目も揃いやすく、埋蔵量も豊富。中目の白御影。(花崗岩)

青葉みかげ…その名の通り、青みを帯びた色調に特徴がある。研磨すると味わいの  
(アハ) ある美しさと艶やかな青色の光沢を放つ。高硬度で艶持ちもよい。  
難点はあまり大材が採れない。(花崗岩)

高太石…大材が採れ、石目が整っており、青味が深い。  
(コウタイ) 黒玉が少なく、高硬度で艶持ちもよい。(花崗岩)

## [茨城県]

稲田石…全体の60%強を占める長石の白さが特徴の中目白御影。素面の美しさ、  
(イナダ) 硬質で耐久性に優れ、磨き上がりの光沢、加工性に富んでいる。  
「石切山脈」で採掘されており、大材が採れる。(花崗岩)

真壁石…小目と中目があり、小目は青味が強く粒度が細かい。優美で堅牢、  
(マカベ) 変色しない。中目は小目よりややグレー系である。  
現在では小目が主流。(花崗岩)

羽黒青糠目…やや青みがかった深みのある色石で類を見ないきめの細かさ。  
(ハグ アヲカ) 糠目石独特の気品と重厚さを生み出している。ごくまれに黒い牡丹の

## [神奈川県]

本小松石…石質が極めて良く、墓石用としては最高級品。現存する石材の中で最も古い  
(ホンコマツ) 歴史を持っている。切り出した状態では表面が赤褐色をしているが、  
本磨きの加工をすると小松石独特の模様と淡灰緑色の石面になる。(安山岩)



よい風土に育まれた銘石は、古くはお城の石垣をはじめ、著名建築物にも多く使用されています。お墓に使われてきた歴史も長く実績があります。お見積りは無料ですのでお気軽にご相談下さい。  
(納期のかかる石種もございますので合わせてご確認ください)